

平成25年度第2回山口県高齢者医療懇話会会議結果

会議の名称	平成25年度第2回山口県高齢者医療懇話会
開催日時	平成26年2月6日(木) 午後1時30分～午後3時
開催場所	山口市大手町9番11号 山口県自治会館4階 山口県後期高齢者医療広域連合大会議室
会議の概要	<p>●テーマ 「平成26年度及び平成27年度の保険料率について」</p> <p>〈主な意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現役世代から後期高齢者医療制度への支援金について、被保険者だけでなく被扶養者についても、一人当たり53,000円の負担が求められている。収入のある被保険者は良いとして、収入がない被扶養者(例えば0歳児等)にも割り当てられているのは大きな負担である。この仕組みをご存じない方も多いと思うので、この機会に紹介させていただきたい。</li> <li>・ 年金の額が少なくなっている一方、年金から天引きされるものが多く、その中でも保険料は大きな割合を占めている。施設におられる知り合いの方などは、こんな状況では施設の利用料を払うのも大変だと言われる。しかし、今日話を聞いて、様々な事情があるということはある程度理解できた。</li> <li>・ 給与が上がれば、それに伴って年金も上がる。医療費の伸びがその範囲内で収まってくればよいが、給与はゼロベース、年金も減額という状況の中で、医療費は以前のように高騰とまではいかないまでも伸びを見せており、その費用負担をどうするか、どうやって支え合っていくのかということ、様々な立場から考えていく必要がある。</li> <li>・ 医療費の伸びを抑えるには、健康な人を増やし、お年寄りであっても収入が持てる、仕事ができる社会にしていかなければならない。高齢者になってからだけではなく、現役世代の頃からの健康づくりが非常に大事になる。歯科医師会では、検診内容の充実に加え、検診に来られた方の指導にも力を入れていきたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇部市では、老人クラブが主体となって健康教室を行い（費用は市が負担）、その中で歯科医に指導を行ってもらっているが、非常に有益だった。他地域にも声をかけて、この取組みをさらに広めていけたらよいと考えている。</li> <li>・ ジェネリック医薬品の使用で薬価を下げることと併せて、薬剤師会で最近話題となっているのが、残薬の整理の必要性。他科受診による薬の重複や飲み残し等が出た残薬を整理・調整できれば、医療費抑制に有効だということで検討している。具体的な話になったら、御協力をお願いしたい。他科受診の状況等は個々の薬局では把握が難しいので、そういう点で広域連合と連携していく必要があると考えている。</li> <li>・ 看護協会としても、健康指導、健康教育に力を入れていきたい。個人の健康意識を高め、賢い受診の仕方を身につけていただく、本当に必要な時に、必要な医療を受けていただくことも大切だと思う。</li> </ul>
問 合 せ 先	<p>山口県後期高齢者医療広域連合事務局  T E L : 0 8 3 - 9 2 1 - 7 1 1 0  F A X : 0 8 3 - 9 3 2 - 5 3 2 1  E-mail : info@yamaguchi-kouiki.jp</p>